

平成23年度事務事業評価議会評価報告書に対する予算反映等改善書

事業名

2-4-8 緊急避難所機能強化モデル事業

【予算反映等改善事項】

今年度においては平成25年1月末現在、災害時における協定書締結により、広域・収容・津波一時避難場所として4施設、収容・津波一時避難場所として1施設、津波緊急一時避難建築物として4棟を、また福祉避難所は、2施設をそれぞれ指定しました。引き続き避難場所及び津波緊急一時避難場所のさらなる確保を図り、東南海・南海地震等の大規模災害に備えます。

また、避難所の機能強化のため、備蓄倉庫7基及び備蓄資材（バルーン投光器・発電機・簡易トイレ・トイレセットなど）の整備をしました。整備した資材の内容については、事前に避難所との調整もしました。さらに資材の取り扱い等について、災害時の迅速な対応を可能とするため現場説明を実施します。

次年度についても、避難所機能強化を順次実施し、議会から指摘がありましたように、各自主防災組織や自治会などとの地域における防災訓練などで積極的に連携することで、周知を図り、市民全体に浸透するよう努めていきます。